

T20240731_04_viavi

[VIavi](#)、光ファイバケーブルとファイバ対応の重要インフラ向けのセンシングソリューションを発表

Viavi Solutions Inc.(VIavi)は、石油、ガス、水道パイプラインから送電、国境/境界セキュリティ、データセンタ相互接続に至るまで、重要なインフラストラクチャ向けの統合リアルタイム資産監視および分析ソリューション NITRO ファイバセンシングの発売を発表した。

通信事業者は、重要なインフラストラクチャの保護と最適化という課題に直面している。重要な資産の損傷に関連するコストは、初期投資を矮小化することが多いため、外部の脅威の迅速な検出、ローカリゼーション、および防止により、損害と停止を最小限に抑え、総所有コスト(TCO)の削減につながる。さらに、オペレーションを最適化することで、生産目標を確実に達成することができる。

分布温度センシング(DTS)、温度とひずみの同時センシング(DTSS)、分布音響センシング(DAS)技術で構成される NITRO ファイバセンシングは、脅威を迅速に特定して特定するために必要な重要なインテリジェンスを提供する。

NITRO ファイバセンシングは、一般にインテロゲータとして知られるリモートファイバテストヘッド(FTH)を使用して、光ファイバケーブルまたはファイバ対応インフラストラクチャを監視する。FTH は、リアルタイムの分散光ファイバセンシングを実行することにより、ファイバに沿った温度と歪を測定したり、ファイバの近くで音響振動を検出したりできる。FTH は、電力ケーブルやパイプラインなどの戦略的な場所に展開され、プロアクティブなメンテナンスを推進し、ダウンタイムを防ぐために使用できる貴重なインフラストラクチャの健全性データを提供する。アラートは、人間の干渉、車両の移動、掘削作業、漁網、または貴重な資産を侵害する船舶の錨による潜在

的な脅威をオペレータに通知する。これらのアラームには、メンテナンス、対応、修理チームを支援するための正確な位置情報が含まれている。

「ファイバ監視のリーダー VIAVI は、今日、世界中で数千のテストヘッドを使用して、何百万マイルものファイバを監視することで信頼されている。NITRO ファイバセンシングソリューションにより、ファイバ監視を次のレベルに引き上げる」と、VIAVI のファイバおよびアクセスソリューション担当バイスプレジデント兼ゼネラルマネージャ、Kevin Oliver は話している。「セキュリティ規制に準拠しながら正確で回復力のある監視を可能にするために、様々な業界で光ファイバケーブルの使用が増加しており、当社の幅広いポートフォリオは各顧客固有のニーズに応える」と同氏は付け加えている。